



選手に声をかける広島ファン＝22日夜、広島市のマツダスタジアム、上田幸一撮影



土蔵の外壁が落ちた部分を見て回る和田章さん

「住宅に影響が少ない周期」

今回の地震で震度6弱を観測した鳥取県倉吉市を、元日本建築学会会長の和田章・東京工業大



土蔵の外壁が落ちた部分を見て回る和田章さん

元建築学会長が調査

名譽教授（建築学）が22日、現地調査した。観光名所の白壁土蔵群は多くで外壁がはがれ落ちていた。瓦が落ちた住宅も目立つ。防災科学技術研究所によると、揺れの勢いを示す加速度は同市内の地震計で最大149.4ガル。熊本県益城町で熊本地震の本震の際に記録した136.2ガルを上回った。前震の158.0ガルにも迫る強さだ。

だが見て回った限り、倒壊した建物はなかった。和田さんは「加速度は大きかったが、住宅などに影響を与える周期ではなかった。京大防災研究所の後藤浩之准教授（地震工学）が地震波を分析したところ、住宅などを壊しやすい周期1秒程度の揺れが、熊本地震の益城町のデータと比べて少なかった。鉄筋コンクリート造の市役所本庁舎は築60年だが、傾きや大きな亀裂は見られなかった。建築家の故・丹下健三氏が設計した国登録有形文化財。市による

と1998年に耐震改修を行う前は最も弱い部分で必要な強度の約2割しかなかった。「改修していなければ相当な確率で建物壊れていただろう」だが昔の工法だった窓ガラスはほとんど割れ、災害対策本部は県の事務所に設けざるをえなかった。割れないように周りにゆとりを持たせた最近の工法の窓ガラスはほぼ無事だった。「災害拠点として機能させるためには、耐震化からもう一歩進めた対策も必要」と和田さんは指摘した。

（後藤一也、佐藤建仁）理由でメディアに圧力をかけるのは当然だと思うか」という質問に対しては、「思わない」と答えた人が64.2%。昨年度の調査と比べて3.6%減った。「思う」と答えた人は32.6%で、5%増えた。調査は8月9日。18歳以上の5千人を対象に、3308人から回答を得た。



鯉昇れ!

22・23面＝試合詳報

真っ赤に染まった球場が、プロ最速の男をのみ込んだ。広島は32年ぶりの日本一をかけ、22日に始まった日本シリーズ。本拠・マツダスタジアム（広島市南区）はいつにも増して燃えた。その中に、日本ハムの本拠・北海道から来た「ピジター女子」がいた。

九回、抑えの中崎翔太投手の1球1球にスタンドが沸く。最後の打者をフライに打ち取ると、スタンドは総立ちになった。広島県安芸高田市の中学3年生、平川聖理さん（15）は、「このまま4連勝して、日本一になってほしい」と喜

だが見て回った限り、倒壊した建物はなかった。和田さんは「加速度は大きかったが、住宅などに影響を与える周期ではなかった。京大防災研究所の後藤浩之准教授（地震工学）が地震波を分析したところ、住宅などを壊しやすい周期1秒程度の揺れが、熊本地震の益城町のデータと比べて少なかった。鉄筋コンクリート造の市役所本庁舎は築60年だが、傾きや大きな亀裂は見られなかった。建築家の故・丹下健三氏が設計した国登録有形文化財。市による

と1998年に耐震改修を行う前は最も弱い部分で必要な強度の約2割しかなかった。「改修していなければ相当な確率で建物壊れていただろう」だが昔の工法だった窓ガラスはほとんど割れ、災害対策本部は県の事務所に設けざるをえなかった。割れないように周りにゆとりを持たせた最近の工法の窓ガラスはほぼ無事だった。「災害拠点として機能させるためには、耐震化からもう一歩進めた対策も必要」と和田さんは指摘した。

（47）は3年前、日本ハムと対戦する広島カープを札幌ドームで見て、ファンになった。名物の「スクワット応援」

（47）は3年前、日本ハムと対戦する広島カープを札幌ドームで見て、ファンになった。名物の「スクワット応援」

（47）は3年前、日本ハムと対戦する広島カープを札幌ドームで見て、ファンになった。名物の「スクワット応援」

（47）は3年前、日本ハムと対戦する広島カープを札幌ドームで見て、ファンになった。名物の「スクワット応援」

Table with 2 columns: City and Temperature. Includes cities like 東京, 大阪, 名古屋, etc.